

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公開番号】特開2011-106489(P2011-106489A)

【公開日】平成23年6月2日 (2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2009-259439(P2009-259439)

【国際特許分類】

F 1 6 H 25/20 (2006.01)

F 1 5 B 15/14 (2006.01)

F 1 6 H 25/24 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 25/20 F

F 1 5 B 15/14 Z

F 1 6 H 25/24 H

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月17日 (2012.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

ベース部 1 0 2 は、一定厚さを有したプレート状に形成され、シリンダボディ 1 2 の軸線方向（矢印 A、B 方向）に沿って所定長さで形成されると共に、該シリンダボディ 1 2 の幅寸法に対して若干だけ大きく形成される。そして、ベース部 1 0 2 には、その長手方向（矢印 A、B 方向）に沿った略中央部に一对の位置決めピン 4 6 が装着され、該ベース部 1 0 2 の上面から所定高さだけ突出している。また、ベース部 1 0 2 には、位置決めピン 4 6 から所定間隔離間して二対のボルト孔 1 0 6 a、1 0 6 b が形成され、前記ボルト孔 1 0 6 a、1 0 6 b には、前記ガイドユニット 2 6 とシリンダボディ 1 2 とを連結するための取付ボルト 5 2 a、5 2 b が挿通される。なお、ボルト孔 1 0 6 a、1 0 6 b は、位置決めピン 4 6 に対してベース部 1 0 2 の一端部側（矢印 A 方向）及び他端部側（矢印 B 方向）にそれぞれ形成され、且つ、前記ベース部 1 0 2 の幅方向に並列に形成される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

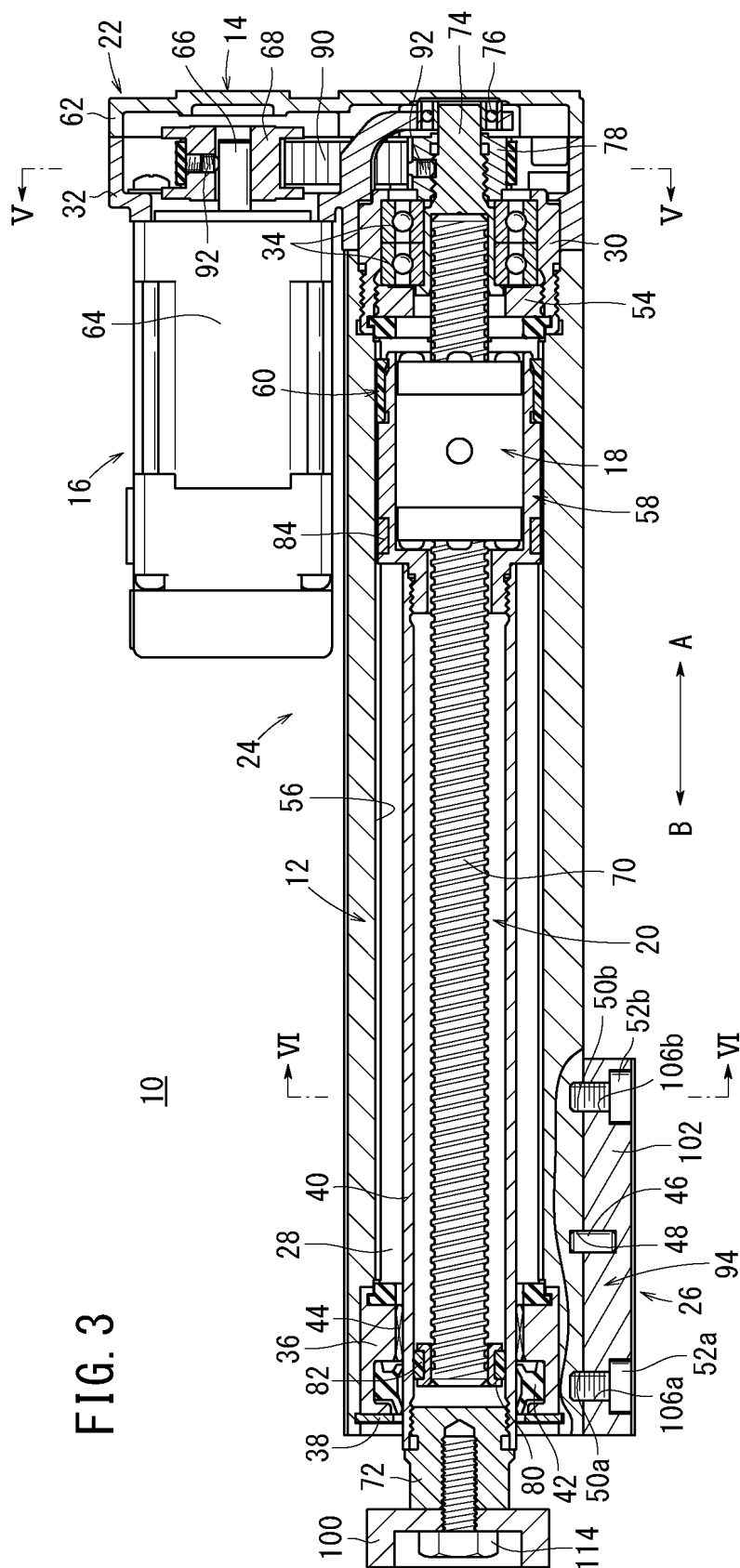


FIG. 3

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

FIG. 7

